

日本台湾学会

第 21 回学術大会プログラム

2019年6月7日(金)ー8日(土) 於：福岡大学
〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19-1

主催：日本台湾学会

6月7日(金)

企画*： 17:00-19:00 (場所：中央図書館1階 多目的ホール、開場：16:30)
「映像で知る台湾——民族誌映画「虹の物語」上映と比令亞布(ピリン・ヤブ)
監督との対話」

17:00-17:05 趣旨説明
17:05-18:05 映画上映
18:05-18:35 監督からのメッセージ
18:35-19:00 監督との対話

*主催：日本台湾学会、福岡大学福岡・東アジア・地域共生研究所

助成：(公財)日本台湾交流協会

協力：国立民族学博物館

6月8日(土)

受付開始： 08:50- (場所：A棟7階)
分科会第I部： 09:20-11:10 (場所：A棟7階)
分科会第II部： 11:25-13:15 (場所：A棟7階)
分科会第III部： 13:30-15:20 (場所：A棟7階)
公開シンポジウム： 15:50-18:00 (場所：A棟2階 A201)
総会： 18:10-18:50 (場所：A棟2階 A201)
懇親会： 19:00-20:30 (場所：文系センター棟16階 スカイラウンジ)

	第I部(午前1)				第II部(午前2)				第III部(午後)				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
分科会	企画	企画	自由論題	自由論題	企画	自由論題	自由論題	自由論題	企画	企画	自由論題	自由論題	自由論題
	歴史学	教育史	文学・演劇研究	人類学・歴史学	文学	映画・社会研究	人類学・歴史学	軍事史・政治史	歴史学	環境社会学	文学	文学	社会学・政治学

*使用言語：原則として日本語。

◇第1分科会（歴史学） 1セッション企画

「台南研究——日本統治期の台南で活動した日本人たち」

◎企画責任者：大東和重（関西学院大学）

◎座長：大東和重（関西学院大学）

◎報告：

・黒羽夏彦（成功大学大学院・院生）

「日本統治初期台南におけるキリスト教を媒介とした異民族交流——秋山善一・珩三兄弟を事例として」

・鳳氣至純平（文藻外語大学）

「自分史、地方史としての台湾史、そして台南史——國分直一の台湾史関連論考を事例として」

◎コメンテーター：植野弘子（東洋大学）、角南聡一郎（元興寺文化財研究所）

◇第2分科会（教育史） 1セッション企画

「地域の学校／帝国の学校」

◎企画責任者：北村嘉恵（北海道大学）

◎座長：山本和行（天理大学）

◎報告：

・北村嘉恵（北海道大学）

「帝国日本における近代学校の偏在・遍在——台南・新化の教育再編過程と公学校——」

・山本和行（天理大学）

「植民地統治下公立学校の教員ネットワーク——地域のなかの教員——」

・樋浦郷子（国立歴史民俗博物館）

「帝国日本の『学校沿革誌』——学校の儀礼に着目して——」

◎コメンテーター：許佩賢（台湾師範大学）

◇第3分科会（文学・演劇研究） 自由論題

◎座長：松永正義（一橋大学）

◎報告：

・呂美親（台湾師範大学）

「文化の面における1930年代台湾プロレタリア・エスペラント運動：民間文学者・荘松林を例として」

・邱昱翔（大阪市立大学・院生）

「川平朝申の台湾時期研究—「銀の光子供樂園」の活動を中心に」

◎コメンテーター：富田哲（淡江大学）、泉水英計（神奈川大学）

◇第4分科会（人類学・歴史学） 自由論題

◎座長：石垣直（沖縄国際大学）

◎報告：

・村上優（台湾大学・院生）

「日本植民主義に関わる記憶と情感——台湾セデック族『川中島社』の歌」

・酒井亨（公立小松大学）

「台湾ネーションの想像としての「シラヤ文学作品」の意味：陳雷の小説『郷史補記』を中心に」

◎コメンテーター：中村平（広島大学）、中生勝美（桜美林大学）

◇第5分科会（文学） 1セッション企画

「近現代台湾における検閲が及ぼした影響を考える——文学テクストを中心に」

◎企画責任者：張文薰（台湾大学）

◎座長：和泉司（豊橋技術科学大学）

◎報告：

・張文薰（台湾大学）

「新聞小説と検閲：『台湾新民報』を中心に」

・廖紹凱（台湾大学・院生）

「大衆小説から「世界文学」へ：徐坤泉『可憐的仇人』と検閲」

◎コメンテーター：尾崎名津子（弘前大学）、村山龍（法政大学）

◇第6分科会（映画・社会研究） 自由論題

◎座長：三木直大（広島大学）

◎報告：

・三澤真美恵（日本大学）

「現代台湾における「慰安婦」表象——二本のドキュメンタリー映画を中心に」

・八尾祥平（上智大学）

「1960年代の琉球華僑映画にみる琉華関係——松竹映画『海流』との比較を通して」

◎コメンテーター：前原志保（九州大学）、深串徹（東京女子大学）

◇第7分科会（人類学・歴史学） 自由論題

◎座長：張士陽（明治大学）

◎報告：

・中生勝美（桜美林大学）

「台湾蕃族調査会の旧慣調査」

・沼崎一郎（東北大学）

「電影小説『海角七号』をポストコロニアル批評として読む——人類学的ポストインペリアル批評の試み（4）」

◎コメンテーター：春山明哲（早稲田大学）、山崎直也（帝京大学）

◇第8分科会（軍事史・政治史） 自由論題

◎座長：清水麗（麗澤大学）

◎報告：

・小野純子（名古屋市立大学）

「日本陸軍第40軍——『留守名簿』からみた1945年台湾防衛体制」

・五十嵐隆幸（防衛大学校・院生）

「蔣経国の総統期における国府の軍事力整備と作戦準備の実態（1978-1988）
——「自主防衛」体制の構築と「大陸反攻」の構想——」

◎コメンテーター：浅野豊美（早稲田大学）、松田康博（東京大学）

◇第9分科会（歴史学） 1セッション企画

「日本の植民主義をめぐる「轉型正義」と「歴史和解」——沖縄と台湾先住民の重大事件を起点として」

◎企画責任者：大浜郁子（琉球大学）

◎座長：河西英通（広島大学）

◎報告：

・大浜郁子（琉球大学）

「近代日本の沖縄と台湾に対する「植民地責任」の創始と「轉型正義」——「牡丹社事件」を中心に」

・中村平（広島大学）

「台湾先住民における轉型正義と日本の植民地責任：太魯閣戦争／戦役と霧社事件をめぐる動きから」

◎コメンテーター：呉密察（故宫博物院）、呉豪人（輔仁大学）

◇第10分科会（環境社会学） 1セッション企画

「「里山」の台湾化：メイドインジャパン概念の台湾における変容」

◎企画責任者：星純子（茨城大学）

◎座長：佐々木孝子（早稲田大学）

◎報告：

・小池浩一郎（島根大学）

「森林地域における原住民族の物質文化再生と「里山」概念」

・星純子（茨城大学）

「高雄市美濃区における社区营造の中の「里山」概念と実践」

◎コメンテーター：笹田敬太郎（森林総合研究所）

◇第11分科会（文学） 自由論題

◎座長：黄英哲（愛知大学）

◎報告：

・松崎寛子（日本大学）

「鄭清文中編小説「大和撫子」におけるジェンダーと被植民をめぐる記憶」

・倉本知明（文藻外語大学）

「現代台湾文学における魔神仔表象の変容」

◎コメンテーター：豊田周子（名城大学）、三木直大（広島大学）

◇第12分科会（文学） 自由論題

◎座長：澤井律之（京都光華女子大学）

◎報告：

・白井魁（一橋大学・院生）

「歴史の想像、郷土文学論争前夜の日本統治期台湾文学——1970年代『夏潮』の呉濁流評価」

・黄毓婷（交通大学）

「周金波「戦後日記」の地域社会研究」

◎コメンテーター：山口守（日本大学）、星名宏修（一橋大学）

◇第13分科会（社会学・政治学） 自由論題

◎座長：川上桃子（アジア経済研究所）

◎報告：

・福永玄弥（東京大学・院生）

「ポスト帝国主義とホモナショナリズムの同床異夢：日本と台湾のLGBT運動の「連帯」」

・鶴園裕基（早稲田大学政治経済学術院）

「日華平和条約と日本華僑—『五二年体制』に至る人の移動管理の国際制度化」

◎コメンテーター：劉靈均（三重大学）、清水麗（麗澤大学）

***** 《公開シンポジウム 15:50-18:00》*****

公開シンポジウム「台湾の多元文化と教育——原住民族の取り組みから」

助成：（公財）日本台湾交流協会

会場：福岡大学 A 棟 2 階 A201

企画責任：宮岡真央子（福岡大学）、野林厚志（国立民族学博物館）

司会・趣旨説明：野林厚志（国立民族学博物館）

報告：比令亞布（ピリン・ヤプ、Pilin. Yapu）（台中市博屋瑪国民小学校校長）

王雅萍（政治大学民族学系主任）

討論：エドワード・ヴィッカーズ（Edward Vickers）（九州大学）、横田祥子（滋賀県立大学）

使用言語：日本語・中国語（逐次通訳あり）